



2026 年 4 月 1 日

各位

JFE 商事株式会社

2026 年度入社式における社長挨拶について

4 月 1 日、JFE 商事株式会社（代表取締役社長：祖母井紀史）は 2026 年度入社式を開催し、新たに 35 人の新入社員が入社しました。入社式では、社長の祖母井より、新入社員に向けて歓迎の言葉とともに、社会人としての心構えや今後への期待を込めた挨拶が行われました。当日の社長挨拶の全文は、以下の通りです。

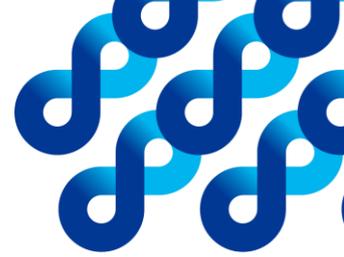
新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

社長の祖母井です。本日の入社式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先程、名前を呼ばれた 35 人の皆さんは、本日より JFE 商事の社員となりました。希望と期待に胸を膨らませ、熱意を持った皆さんを、当社の社員として迎えることを、大変嬉しく思います。今年もこうして新たな仲間を迎えられることに、心より歓迎とお祝いの気持ちをお伝えしたいと思います。

皆さんが踏み出す社会人としてのスタートは、これまで以上に変化の激しい時代に直面しています。世界ではイラン紛争による中東情勢悪化や、アメリカの関税政策に端を発した各国での通商措置の広がりなど、ビジネス環境を一変するような事が起きています。また、日本国内をみても人口減少や高齢化、地球温暖化対策といった解決しなければならない課題がたくさんあります。そのような中、グローバルでスピードを求められる商社で働くことは皆さんにとって刺激的で大きなチャンスだと思います。日頃、テレビやネットで見聞きするニュースが現実のもの実感できることでしょう。

加えて、AI の進展によってビジネス環境はさらに大きく変わろうとしています。これまで人が担ってきた仕事の一部は AI に置き換わり、我々は人間にしかできない仕事は何かを考えていく必要がでてきました。社会人として成長するために必要なスキルや経験も変化し、「若いうちに何を身につければよいのか」悩むのではないのでしょうか。しかし、JFE 商事には世界中に多様な事業と多くの経験を積むことができるフィールドがあるので、皆さんが色々な事に挑戦する機会を提供できると考えています。挑戦した経験の積み上げの中に未来が開けていきます。



時には思うようにいかず、歯を食いしばって前に進まなければならない場面もあるでしょうが、この環境をチャンスと捉えて、変化の時代を生き抜く力を身につけてほしいと思います。

本日はせっかくの機会ですので、私から社会人になるにあたって2つだけアドバイスさせていただきます。

1つ目は「自分で考える」習慣をつけてほしい。「考える」とは論理的に分析・計画すること、違った視点で見てみることで、現状に疑問を持つことです。言われたことを真に受けるだけでなく、「なぜなのか」「どうすればよいのか」いつも考え抜くことが重要です。情報が溢れ、便利で満たされている現代では、企業の存在価値である課題（言い換えれば商売のネタ）が少なくなっています。AI化の進展によりデータ解析や情報収集は進んでいきますが、これからもあるいはそれ以上に、この考え抜く力が社会人として重宝され成長させてくれる要素でもあります。

2つ目は「楽しく」仕事をしてほしい。会社の中で楽しい仕事を見つけるのではなく、どんな仕事でも楽しめる姿勢を身につけてください。楽しく仕事をする人はポジティブに見えますし結果もついてきます。どうすれば仕事を楽しめるかは人それぞれ違うと思いますが、目標を決めてそれを実行する達成感、誰かのためになっている実感、チーム（組織）が活性化しており雰囲気が良い等があげられるでしょう。楽しそうに仕事をしている先輩を参考にして、自分なりの仕事を楽しむスタイルをつくる工夫をしてください。

さて本日、皆さんはどのような気持ちで会社に来たのでしょうか、新しい社会人生活に対しての期待と不安の両方ではないでしょうか。この気持ちを忘れないでください。これから皆さんの期待にどう応えていくか、不安をどうやって和らげていけるか、我々も一緒に歩んでいきたいと思えます。

これから皆さんはJFE商事の一員として働くわけですが、商社の仕事も色々あります。営業をとっても様々な商材がありますし、財務・人事・企画といった共通部門もありそれらすべてで会社は成り立っています。まずは最初に配属された部署で色んな事を吸収し、それぞれのポジションで活躍してください。JFE商事には海外、グループ会社を含めると約9000人の社員が働いていますが、皆さんもその一人として未来志向で、仲間とともに頑張っていきましょう。

最後に、新入社員の皆さんが心身ともに健康で、JFE商事で働く日々が、皆さんにとって実り多きものとなることを心から祈念して、私の歓迎の挨拶とさせていただきます。

■ お問合せ先

JFE商事株式会社 総務部広報室

TEL 03-5203-5055

以上